



2019年4月25日

各位

会社名 株式会社日立ハイテクノロジーズ  
代表者名 執行役社長 宮崎 正啓  
(コード番号：8036、東証第一部)  
問い合わせ先 CSR・コーポレートコミュニケーション部長  
桑原 満 (電話：03-3504-5138)

### 「2021 中期経営戦略」策定のお知らせ

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：宮崎 正啓／以下、日立ハイテク）は、2019年度から2021年度までの「2021 中期経営戦略」を策定しましたのでお知らせします。概要は以下のとおりです。

#### 1. 新たな企業ビジョンとミッション

世界経済の発展が進み人々の生活が豊かになる一方で、気候変動や資源の枯渇といった環境問題や世界的な少子高齢化など、地球規模でのリスクや社会課題が経済・市場の安定化に大きく影響する社会となっています。このような中、企業の価値は、業績など「経済価値」による評価に加え、事業活動を通じて社会課題を解決することによる「社会価値」の評価が重要視されるようになり、お客様への製品・サービスの提供を通じた社会課題解決という新たな価値の創出が求められています。同時に、ビジネスの現場は「製品中心からお客様中心」に大きく変化しており、お客様自身も気づいていない潜在的な課題やニーズの発掘が重要になっています。

日立ハイテクでは2018年6月に、事業特性やビジネスモデルを通じて社会課題解決に向け取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を特定しました。今後、日立ハイテクは特定したマテリアリティのもと、事業の対象分野においてお客様の課題・ニーズを発掘するとともに、お客様志向でのソリューション提供による新たなグローバルニッチ市場の創造をめざしてまいります。

社会の変化に対応するとともに、社会課題解決への貢献に向けて、新たな日立ハイテクの理想の姿、使命・任務を明確にするため、日立ハイテクの企業ビジョンとミッションを改訂しました。

企業ビジョン	ハイテクプロセスをシンプルに
ミッション	私たちは、最先端分野でお客様の飛躍と成長をお手伝いします
説明 (ビジョンとミッションを達成するための方策)	私たちのコア技術「見る・測る・分析する」は、ムダを減らし、生産性を最大化します。 私たちがお届けするプロセス・システム・コンポーネント・マテリアルは、お客様とともに未来を切り拓きます。

#### 2. 2021 中期経営戦略の位置づけ

日立ハイテクは、2016年4月に発表した「2018 中期経営戦略」において、2018年度までの3年間を2020年に向けた成長サイクルを形成する重要な時期と位置づけ、主力事業で継続的に収益を確保しながら次世代につながるリソース増強・投資を推進してきました。

このたび日立ハイテクは、新たな企業ビジョンとミッションのもと、積極的な成長戦略投資を継続しつつ、コア技術である「見る・測る・分析する」（計測・分析技術）を基盤に、技術・製品・サービスを通じてソリューションを提供することにより、社会課題解決の実現と収益性の向上をめざし、2019年度から2021年度までの「2021 中期経営戦略」（以下、2021 戦略）を策定しました。

### 3. 2021 中期経営戦略の内容

#### (1) 経営方針

グローバル成長市場における Focused Solutions Company

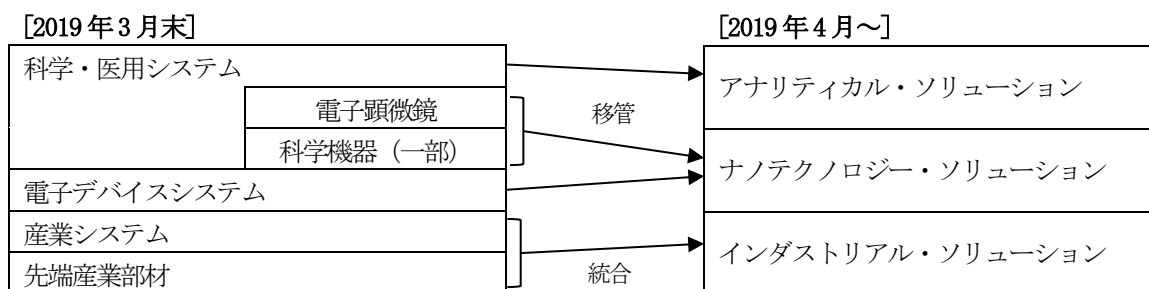
#### (2) 基本戦略

お客様の課題にフォーカスし、「見る・測る・分析する」を基盤とした技術・製品・サービスを通じてソリューションを提供

2021 戦略では、日立ハイテクグループのコア・コンピタンスである「見る・測る・分析する」「自動化・制御技術」「モノづくり力」「グローバル営業力/ビジネス探索力」を掛け合わせ、汎用市場の中から個別化・高度化するお客様の課題を把握し、課題にフォーカスした専用装置やサービス、ビジネスモデルといった特化型ソリューションを提供することで、希少性のある専用市場を創造しグローバルに拡大させていきます。既存のトップ事業のさらなる成長とともに、特化型ソリューションの提供による新たなトップ事業の創出・拡大に取り組んでまいります。

また、デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを経営基盤強化のための最重要プロジェクトとして推進し、業務プロセスのシンプル化を図ってまいります。次代の成長を実現する新たな業務プロセスの構築により製造・販売・サービスにおけるお客様接点を統合し、お客様中心のビジネススタイルに変革することで、キャッシュ化のスピード向上と業容拡大をめざします。

なお、2021 戦略の実行にあたり、コア・コンピタンスを軸に従来の4つのセグメントを3つのセグメントに再編し、事業を推進していきます。



#### (3) 経営目標

##### ① 財務指標

	2021 年度 目標	2018 年度 実績
EBIT*1 マージン率	10%以上	8.8%
ROE	10%以上	11.9%
ROA*2	7%以上	7.3%

\*1 EBIT (Earnings Before Interest and Taxes) : 税引前利益から受取利息および支払利息を除外した数値

\*2 総資産当期利益率(ROA) : 非支配持分控除前当期利益 ÷ 総資産 (期末) × 100

##### ② 成長戦略投資

	2019~2021 年度 計画 (累計)	2016~2018 年度 実績 (累計)
研究開発	1,000 億円	811 億円
設備投資	800 億円	546 億円
事業投資	1,000 億円	197 億円

##### ③ 株主還元

	2019~2021 年度 目標	2018 年度 実績
配当性向	40%	30%

配当性向 40%をめざすとともに、一株当たりの年間配当金は 100 円を下回らないものとする。

日立ハイテクは、“変える勇氣・変わる勇氣”を持って 2021 戦略を実行し、さらなる成長と社会への貢献を実現していきます。

以上